**職 務 経 歴 書**

氏名：

**要約**

〇〇大学法学部を卒業後、○○株式会社に入社。同社では国内外の企業と締結する各種契約書のドラフティング・レビュー、社内での法務相談などを担当しました。

また、△△年に司法試験予備試験合格および翌年に司法試験合格を経て、□□年に司法修習を修了しました。その後、株式会社○○に入社後は

**職務経歴**

**20〇〇年10月～20〇〇年9月　株式会社**〇〇

従業員：○○人　　売上高：○億円

事業内容：システムインテグレーション、情報機器などの開発

▼業務内容

主に企業法務に従事

・業務提携に関わる法務サポート（契約書作成、交渉、契約書のリーガルチェック）

・海外企業間の企業統合に関わる法務サポート

**20****〇〇年10月～20〇〇年2月　〇〇株式会社**

従業員　：○○人　　売上高：○億円

事業内容：ソフトウェアの開発・運営

▼業務内容

法務部に配属

主に企業法務に従事

・国内外の企業と締結する各種契約書のドラフティング・レビュー

・社内での法務相談

**資格**

・◯◯◯◯年 司法試験予備試験　合格

・◯◯◯◯年 司法試験　合格

**英語**スキル

・TOEIC 820点 取得

**PC**スキル

・word

・excel（マクロ関数可）

・power point

**自己**PR

企業法務には、法的知識だけではなく、コミュニケーション能力がです。

具体的には、営業部と問題解決を行う為の連携能力、株主総会で投資家から信頼を得る為の対応力などで多方面より信頼を得る人物が求められていると考えます。

現職では、営業部員が求めていることに理解を深め、法的観点から可能なこと、難しいことを出来るだけわかりやすく解説し、営業部員の心情に寄り添って問題解決に導いてきました。

また、株主総会では、法務支援の観点から想定問答集を作成するだけではなく、当日の対応も行い、投資家の皆さんとコミュニケーションを取る努力を惜しみませんでした。

お陰で、資料のわかりやすさや、回答の素直さから信頼できると評価をいただきました。

以上